



第36回東京国際映画祭
Nippon Cinema Now
正式出品作品

第17回 田辺・弁慶映画祭
弁慶グランプリ・観客賞
俳優賞（堀海みどり・二階堂智）
おいず倶楽部賞

あいち国際女性映画祭 2024
国内招待作品

35
35 Films Parks

堀海みどり初長編監督作品

99%、いつも雲り

一葉ちゃんは、
もう子供は
作らないの？

堀海みどり 二階堂智

永楠あゆ美 Ami Ide KOTA 曾我部洋士 亀田祥子 月田啓太 吉岡礼恩
秋葉有嬉 根口昌明 野井一十 浅地直樹 井上薫 塾一久

監督・脚本・編集／堀海みどり 撮影／須藤しづま 照明／西野正浩 録音／三村一馬
美術／求愛行動 yui 衣裳／栗田珠似 メイク／渡邊夏生 音楽／34423

製作・配給／35 Films Parks

普通って何よ。
自分が普通だって
思ってるの？

あえて書くが、この作品は、50歳の無名の俳優が、これで終われるかと一発奮起、映画学校で創作を学び、お金だけでなく自分の全てを投入して作り上げた大博打だ。

犬童一心（映画監督）

日本映画に出てくる中年女性のパリエーションの狭さに辟易している身からすると、よき母、よき妻、できる女、理想の上司像、きれいでかわいい女、そういった枠をすべて破壊しつつ、瑚海みどりが自分の年齢にあった女性の変遷を演出し、演じてくれることを期待する。こういう才能をプロデュースしない日本映画界なんてもういない。

金原由佳（映画ジャーナリスト）

本作で描かれるのは発達障がい者の生きにくさではあるが、同時に誰にでもありうること。特に夫婦やパートナー関係の中では簡単に起こる、親密な他者と生きていくことの「他人性」が主題とも言えるだろう。だからこそ、この作品は多くの人に響くのだ。

桂川泰典（早稲田大学人間科学学術院 教授）

「1%の晴の為に生きている」という瑚海監督のお言葉でようやく作品の意味の理解に近づくことができました。

田辺・弁慶映画祭アンケートより

全ての女性に、生き方への新しい視点を届けたい！

「STORY

母親の一周忌で叔父に言われた「子供はもう作らないのか」の一言に大きく揺れる楠木一葉（45）。生理も来なくなって子供は作れないと言い放つ一葉の目には、夫の大地（50）が子供を欲しがっている姿が映る。流産した経験もあり子作りに前向きになれない一葉だったが、自分がアスペルガー傾向（発達障害グレーゾーン）にあることに悩みを持っていた。養子を取ることを薦められるが、次第にズレていく一葉と大地。

「自分もだけどあんたもアスペルガーだと思うよ」と15年前に言われた衝撃的な言葉がこの映画を生んだ。実際に発達障害傾向の人たちのコミュニティに参加してみると、職場に馴染めない、どうしてもミスを連発する、なかなか自分に合う仕事に巡り合わず職場選別に悩んでいるなど、取材してわかった。人と話が噛み合わない、空気が読めないとか…なるほどなるほど。アメリカ人の友人に聞いてみるとアメリカにはそんな人は沢山いる、と。

我々は小さな社会で、いつでも周りの顔色を伺いながら、小さな頭をぐるぐるさせて人間関係の難しさにぶち当たっている。生きるって本当に大変。それは発達障害傾向であろうとなかろうと、みんな同じ。それなら、もう少し想像力を働かす努力をしてみようか。みんな誰もが凸か凹で、凸凸凹凹で。15年前の私がこの映画を作るよう背中を押した。

瑚海みどり

瑚海みどり 二階堂智 永瀬あゆ美 Ami Ide KOTA 曾我部洋士 亀田祥子 月田啓太 吉岡礼恩 秋葉有緒 根口昌明 野井一十 浅地直樹 井上薫 監製
ありす 美加里 矢島美穂 遠藤百華 露木心菜 露木容子 伊藤康徳 田中栄吉 石毛笑子 吉岡優花 程塚さくら 松本亜錦
撮影 / 須藤しゅん 照明 / 西野正浩 録音 / 三村一馬 美術 / 求愛行動 yui 衣裳 / 栗田珠似 メイク / 渡邊夏生 監督補 / 小宮淑 助監督 / 山崎靖之
監督・脚本・編集 / 瑚海みどり 製作・配給 / 35 Films Parks 2023年|日本|カラー|シネマスコープ|110分 AFF2 ©35 Films Parks

35filmsparks.com/ @35_filmsparks

Denkikan

24.11.29 公開

TEL096-352-2121